

園名：すぎなみのぞみ保育園

活動日時：6月2日(月)6月30日(月)10:10～

1. 活動テーマ

<テーマ>

みんなで様々な音に触れてみよう！
～たたいてみたら〇〇な音が！？～

<テーマ設定理由>

進級し、廃材遊びに興味を持った5歳児の子どもたち。ある日、トイレトーパーの芯をたいこのバチに見立てて遊び始めていました。『なんか音がするよ』と発見する姿から音をテーマにしました。

2. 活動スケジュール

5歳児 8名(30日は、4歳児5名も一緒に参加)

- ・自分で作ったバチでたたいてみる。
- ・様々な楽器に触れてみる。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

【道具】トイレトーパーの芯、ドレミパイプ、すず、タンバリン、ウッドブロック、ハンドベル、ピアノ

【設定】十分に発見できるように部屋を広くする。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

まずは、子どもたちとオリジナルのバチを作って音探しの旅にでかける。

自分のバチを作ってねとひとり2本ずつトイレトーパーの芯を渡すと折り紙やシール、ペンなどを使ってそれぞれが製作ワゴンから道具を取りに行き作り始める。

早めに作り終わった友達は、『僕、もうたいこ出来ちゃった！』と自由遊びの際に作っていた物を使って叩きはじめていた。



全員が作り終えて、机→壁→床の順番で自分のバチを使いながら音の発見をしていく。

叩いたときの音をよく聞くように促すと、『あれ？ここはトントン言っていたのに、こっちは壁はコツコツ音がする！なんでだろう？』と壁の材質によって変化がみられていることを発見している。

ねえねえ！
こっちはこんな音がするよ！



最後は部屋中好きなところを叩いてみる。お互いにここはこんな音がしたと発見の発表会を開くと『リュックのところは、バフバフ』『段ボールは、ドンドンって音がした！』と様々なオトマトバが子どもたちから聞けるようになった。

その後は、ドレミパイプ、すず、タンバリン、ウッドブロック、ハンドベル、ピアノを順番に触って音を出してみる。

今回は、楽器で曲に合わせて演奏することに挑戦していく。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回、子どもたちの自由遊びの姿から『音』のスポットを当てて進めていった。

どんな音だった？についての問いに対しても子どもたちの聞こえる音や表現は様々でいろいろな聞こえ方があることが改めて分かった。

いろいろな楽器に触れてみることで、子どもたちなりの新しい発見を今後も深めていきたい。

今回は、みんなで一曲奏でる楽しさを一緒に行っていく。